

## 美しい地域づくり

A班:石田 祐一 増田 和昭  
宮腰 明浩 村松かずみ  
栗田 祥子

### テーマ選定の理由

私たちのまちを住みよく暮らしやすいまちにするために、また訪れていただいた方に気持ち良く過ごしていただくためにはきれいなまちにすることが必要ですが実現していません。私たちはきれいなまちにするための課題を整理して、皆さんに考えてもらうことにしました。

### 美しい地域づくりへの課題

#### ボランティア

何でもボランティアでという考えには限界がある

動ける人と動けない人がいる

動けない人はプレッシャーやストレスになる

何をしても出ない人は出ない

国、県、市の土地という制約がある。

- ・これらの土地の雑草管理は十分ではない
- ・住民が見かねて清掃している
- ・公の土地がきれいになるとまち全体がきれいになる
- ・住民に有償で任せると良い

### 解決の方向イメージ

- ・市民と行政の役割付けが必要。
- ・何でもボランティア頼りと言うのには限界がある
- ・有償ボランティアの考え方が必要。

#### 住民、町内会

全員参加が基本だが出れる人と出れない人がいる

全市クリーン作戦にお金が出ている地域がある

行政からお金が出るからやるという考えがある

町内会が声を掛けると不健康でも出なければいけないということもある

出不足料を払う仕組みもある

- ・払えばよいという考え、払えないから無理をしてでも出るという考えがある

出る人が固定している、アパートの人はほとんど出ない  
子どもを連れて出てくる人もいる、子どもの参加を促すと良い  
出欠を取っているところもある  
作業の時間の設定が難しい  
町内会の行事を増やしたくない  
若い人がいっしょに行動することで伝統が受け継がれるが若い人の参加が少ない。  
若い人を育て、伝えるということが必要  
自分の力で環境を変えられることが大切  
美しい地域づくりの意見交換の場にすると良いが、なっていない。  
すべて町内会頼りと言う考えでは良くない

- ・町内会頼りには限界がある。
- ・自分たちの町は自分たちで守るという意識が必要。
- ・誰もが参加できる工夫と仕組みが必要。
- ・地域のリーダー役が大切。

## 高齢化

人手不足、高齢化の中でどうやって地域の環境を守っていくのか

- ・7人の侍の思想につながる
- ・閉鎖的では地域は消滅する
- ・環境の整備は引きこもり対策としての活用もある

高齢でゴミ当番が出来ない人もいる

- ・隣組で助け合う
- ・耐えかねて町内を出て行く人もいる

役員の順番制と言う考えもある

新しい人の地域への取り込みの問題がある

- ・最近の傾向として受入の雰囲気が出てきている

価値観の持ち方を変えることも必要、一流会社指向ではないものが必要

退職者へのアプローチ

産めよ増やせよという思想は捨てる(無いものねだりはしない)

子育て環境の整備も必要だが一人一人がいかに個人の力を十分に発揮できるか、その環境をつくるのが大切

参加するのは高齢者が多い

- ・やりがいにつながっている
- ・老害ということもある

- ・そこにいる人でやっていくという覚悟が必要。
- ・他との連携が必要。
- ・一人一人が力を発揮できる工夫と仕組みが必要。

## モラル

自分だけ良ければという考えがある  
ゴミを拾っても拾っても捨てられると無力感が出る  
きれいにするという意識がない  
自分の町に誇りを持つ、好きになることが美しい地域づくりにつながる  
ポイ捨てがなくなる

- ・条例化
- ・外からの働きかけが必要
- ・小さい時からの教育が必要
- ・行事が終わったら全員でゴミを拾う
- ・ゴミ箱を置かない
- ・ゴミの袋に名前や世帯番号を書いている
- ・持ち帰り運動の展開

### 家庭での教育

- ・一軒がきれいにすると波及効果がある
- ・雪を道路に投げ捨てる人がいる

### 基本的には助け合いの精神がある

- ・自分のところはきれいにしている
- ・自分の家の前に人に見てもらおうための花を植えている

- ・人に迷惑を掛けないという意識付けが必要。
- ・自分たちのまちは自分たちで守るという意識が必要。
- ・持ち帰り運動は有効であり、効果が出ている。
- ・子どもの時からの意識付けが大切。
- ・対策の一つとしてポイ捨て禁止条例がある。

## 行政

### 仕組み、環境をつくる役割が大切

お金がないと言うがお金がないから行政の役割があるのであり、お金が十分あるのなら行政は要らない  
行政は生きたお金を使っているとは言い切れない  
行政が何もしないと住民が自分で考えて行動して、自治が育つ  
協働する、協力するという意識が欠けている

### 行政は忙しい

- ・仕事の仕方を変えるべきである

市民との協力の仕方を知らない

- ・市民との協働という考えが大切
- ・市民に十分知らせていっしょに考えるという姿勢が必要
- ・市民と行政では視点が違うという認識が必要

市民に十分知らせているとはいえない

市民の声を十分聞いていない

- ・住民の希望することを希望に沿ってやって欲しい
- ・住民に任せると良い

市域全体、市民全体に呼びかけて全域でやるという意識が薄い

- ・組織として対処するという考え方が必要

地域を知ることが大切

誰もが仕事ができる仕組みが必要

## メッセージ

助け合いの精神でまちがきれいになります。

こころがきれいだと地域がきれいになります。

地域がきれいだとこころがきれいになります。

お互いに課題を認識して、解決策は一人一人で考えることが人をつくり地域をつくって自治のまちを育てます。